

ハタ類(1)

分類: スズキ目 スズキ亜目 スズキ科
学名: 各項に記載

全世界の温帯から熱帯海域特に熱帯の沿岸のサンゴ礁や岩礁地帯に生息する典型的な根魚である。その種属も極めて多く幼魚と成魚とで体色斑紋が異なるときがある。地色は地味な褐色や灰褐色のものが多いが鮮紅色のものもある、体型は左右に平たく他の魚に比し頭部が体長の割合に対して大きい。大きな口には犬歯をもち肉食魚で甲殻類魚類を捕食する。一般に40cm位の体長のものが多いが1mを越える大型魚もある。肉は白く美味である。ハタ類は雌雄同体で最初は卵巣が発育し雌の役割をはたし後精巣に変化し雄となる。岩穴やサンゴ礁の隙間に単独で生活し群を作る事はない。



アオノメハタ ニウエ
Cephalopholis argus -1973-



ユカタハタ
C. miniatus
コートジボアル -1974-



バラハタ ニウエ
Variola louti -1973-



アオノメハタ ブルンジ
-1974-



マダラハタ
E. microdon
キューバ -1958-



アオノメハタ ブルンジ
-1974-



バラハタ
モーリシャス -1969-



マハタ
Epinephelus septemfasciatus
キューバ -1965-



バラハタ
モルシブ -1973-

ハタ類(2)



バラハタ
ヨルダン -1974-



アオハタ
E. awoara
キューバ -1958-



バラハタ
英領インド洋地域 -1968-



クエ
E. moara
リベア -1973-



クエ
キューバ -1975-



クエ
リベア -1975-



オオハタ
Epinephelus.sp
イフニ -1953-



オオハタ
サンマリノ -1966-



オオハタ
イフニ -1953-